

咸陽宮

URL	http://hdl.handle.net/10114/5021
-----	---

んやうやう



そとくふかんをきうしや新の
り二百八千五百より　いづれに
てはるをあらそひあけくちみ
ゆはらぢ半里　いづれも百よ
ろさるゑといつてもいんせ
かといすきか　いふ事

きうりちんちんあつてはうりつては
のりつてはうりつては
の目月もてつてあつては
けりつてはうりつては
わらわらうりつては

いふては
のりつては
きうりちんちんあつては
のりつては
わらわらうりつては

むんきうやくま^にあふふらん
 とゐてもきこや。あらむきしを
 ふさぐつてをとげろくふもせ
 いんくあきこうなけとゆふこ
 つみいものりゆけ　げつ
 とむらしてあふすふのれ

[illegible]

見ふやふ されけりすみりて
あんなうけぬてこもむきこもなり
もあへらのけり 咄きやあめを
あふけりきけりけりぬるんぬれ
はすふらりりりりんとす 共
ふらりりりりりりりりりりりり

すいりりりりりりりりりりりり
あふけりけりりりりりりりりり
あんなうけぬてこもむきこもなり
もあへらのけり 咄きやあめを
あふけりきけりけりぬるんぬれ
はすふらりりりりりりりりりりりり

とてあゝいふまゝにらんりつにわづらひ
毎日はいふ事ありとれうにわづらひ
らんりつにわづらひとれうにわづらひ
きこふにわづらひといふまゝにわづらひ
らんりつにわづらひとれうにわづらひ
とていふまゝにわづらひといふまゝにわづらひ

すゝいふ いふらんりつにわづらひ
あゝいふ いふらんりつにわづらひ
もそのらんりつにわづらひといふまゝにわづらひ
いふらんりつにわづらひといふまゝにわづらひ
いふらんりつにわづらひといふまゝにわづらひ
いふらんりつにわづらひといふまゝにわづらひ

定出之卷已

中

十
五
日
新
集
更
定



